

職場集会

議題

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 自己紹介 | ・ ・ ・ ・ 1～3 |
| 2. 会議の目的 | ・ ・ ・ ・ 4 |
| 3. 51期活動報告 | ・ ・ ・ ・ 5 |
| 3.1 活動概要 | ・ ・ ・ ・ 6 |
| 3.2 労働条件対策 | ・ ・ ・ ・ 7～10 |
| 3.3 賃金向上 | ・ ・ ・ ・ 11～12 |
| 3.4 福利厚生 | ・ ・ ・ ・ 13～14 |
| 3.5 財政部 | ・ ・ ・ ・ 15 |
| 3.6 広報部 | ・ ・ ・ ・ 16 |
| 3.7 同業他社実情 | ・ ・ ・ ・ 17 |
| 3.8 積み残し課題 | ・ ・ ・ ・ 18～19 |
| 4. 52期活動予定 | ・ ・ ・ ・ 20 |
| 4.1 活動の優先順位 | ・ ・ ・ ・ 21 |
| 4.2 定期大会報告 | ・ ・ ・ ・ 22 |
| 4.3 組合活動方針 | ・ ・ ・ ・ 23 |
| 4.4 スローガン | ・ ・ ・ ・ 24 |
| 5. 連絡事項 | ・ ・ ・ ・ 25～26 |
| 6. 意見交換 | ・ ・ ・ ・ 27 |



ダイダン労働組合

2025年11月

1. 自己紹介（三役3名・会計監査2名・執行委員10名）

役職	選挙区	氏名	事業所	所属
執行委員長	全国	海老名 康太	横浜支店	技術部
副執行委員長	全国	橋本 尚人	九州支社	技術第一部
書記長	全国	西林 知哉	大阪本社	技術管理部
会計監査員	全国	岩本 洋介	横浜支店	技術部
会計監査員	全国	菊川 栄一郎	西日本事業部	設計部
執行委員	東日本	鈴木 貴也	東京本社	技術管理部
執行委員	東日本	橋口 竜弥	東京本社	技術第一部
執行委員	東日本	益田 友輔	横浜支店	技術部
執行委員	東日本	甲斐田 裕史	技術本部	安全衛生統括部
執行委員	東日本	三宅 範幸	イノベーション本部	再生医療推進部
執行委員	東日本	高須 亮二	名古屋支社	技術第一部
執行委員	東日本	馬場 貴大	東日本事業部	設計第二部
執行委員	西日本	西田 伊吹	大阪本社	総務部
執行委員	西日本	金谷 勇祐	大阪本社	営業管理部
執行委員	西日本	谷 一輝	大阪本社	技術第二部

1. 自己紹介（中央委員14名）

役職	選挙区	氏名	事業所	所属
中央委員	北海道東北	大崎 優人	北海道支店	技術部
中央委員	東京	野口 佳穂	東京本社	総務部
中央委員	東京	三野 恭平	東京本社	購買部
中央委員	東京	中村 塔子	東京本社	技術第二部
中央委員	東京	宮崎 悠	技術本部	BIM・ICT推進部
中央委員	東京	塩見 真衣	イノベーション本部	技術研究所
中央委員	名古屋北陸	瀬戸口 裕太郎	名古屋支社	営業第一部
中央委員	名古屋北陸	宮田 龍一	北陸支店	技術部
中央委員	大阪	難波 虎太郎	大阪本社	総務部
中央委員	大阪	田中 結麻	大阪本社	技術第四部
中央委員	大阪	富羽 睦美	西日本事業部	現場サポート部
中央委員	中国四国	村田 将頌	中国支店	営業部
中央委員	中国四国	上畑 大輔	四国支店	技術部
中央委員	九州	淡浪 紘司	九州支社	総務部

1. 自己紹介（代議員50名）

役職	選挙区	氏名	事業所	所属	役職	選挙区	氏名	事業所	所属
代議員	北海道	菅井 祥弘	北海道支店	営業部	代議員	名古屋	福岡 航平	名古屋支社	総務部
代議員	東北	遠藤 佳	東北支店	営業部	代議員	名古屋	福崎 紗采	名古屋支社	総務部
代議員	東京	露木 紀明	東京本社	総務部	代議員	名古屋	林 真帆	名古屋支社	営業管理部
代議員	東京	山形 智哉	東京本社	購買部	代議員	名古屋	石川 景梧	名古屋支社	技術管理部
代議員	東京	成沢 哲志	東京本社	営業第二部	代議員	名古屋	天野 晃良	名古屋支社	技術第二部
代議員	東京	佐久間 葵	東京本社	技術管理部	代議員	名古屋	島川 典士	豊田支店	技術部
代議員	東京	宮腰 宏輝	東京本社	技術第一部	代議員	名古屋	出村 俊郎	東日本事業部	設計第二部
代議員	東京	緒方 優樹	東京本社	技術第二部	代議員	北陸	本多 陽一	北陸支店	営業部
代議員	東京	田中 智偉	東京本社	技術第三部	代議員	北陸	玉田 響己	新潟支店	営業部
代議員	東京	国広 智也	東京本社	技術第三部	代議員	大阪	吉村 紗貴	大阪本社	総務部
代議員	東京	平山 翔太郎	東京本社	技術第四部	代議員	大阪	森 達也	大阪本社	営業第二部
代議員	東京	名倉 光平	東京本社	技術第四部	代議員	大阪	今井 健太	大阪本社	営業第二部
代議員	東京	梶山 亜里紗	関東支店	営業部	代議員	大阪	下地 健太	大阪本社	技術第一部
代議員	東京	新田 輝	横浜支店	技術部	代議員	大阪	佐々木 良謙	大阪本社	技術第一部
代議員	東京	赤嶺 璃奈	東日本事業部	設計第一部	代議員	大阪	岡村 謙	大阪本社	技術第二部
代議員	東京	竹内 翔悟	東日本事業部	設計第一部	代議員	大阪	伊藤 禎基	大阪本社	技術第三部
代議員	東京	田嶋 葵瑠	東日本事業部	現場サポート第一部	代議員	大阪	安達 大樹	大阪本社	技術第四部
代議員	東京	天野 慎也	技術本部	BIM・ICT推進部	代議員	大阪	丸本 源	大阪本社	技術第四部
代議員	東京	阿部 早也香	技術本部	設計統括部	代議員	大阪	樋口 百合	西日本事業部	設計部
代議員	東京	山田 彬太郎	技術本部	設計統括部	代議員	大阪	高橋 宏明	西日本事業部	設計部
代議員	東京	依光 剛志	イノベーション本部	技術研究所	代議員	大阪	大田 幸枝	西日本事業部	現場サポート部
代議員	東京	春木 優汰	イノベーション本部	企画部	代議員	中国	中西 航亮	中国支店	総務部
代議員	東京	井地 慧詞	イノベーション本部	ソリューション部	代議員	中国	宮岡 誠治	中国支店	技術部
代議員	東京	酒井 隆矢	国際事業本部		代議員	四国	長崎 貴信	四国支店	技術部
					代議員	九州	上村 大樹	九州支社	営業部
					代議員	九州	上田 悠人	九州支社	技術管理部

合計79名

2. 会議の目的

- ・ 5 1 期活動報告
- ・ 5 2 期活動予定の説明
- ・ 組合活動方針の説明
- ・ 意見交換

注意事項

労使協議会、労使懇談会での協議事項は、原則公開できません。

（労働協約第83条 機密の保持）

機密情報ならびに不確定な情報で誤解を招く情報は、非公開としています。
あらかじめご了承ください。

51期活動報告

3. 1 活動概要

- 委員会の回数は前期比同数となったが、組合運営に安定感が向上。
また、各専門部も自主的に活動ができており、各専門部の機能が向上。
その他、顧問社労士との打合せ、組合勉強会、職員組合連絡会、現場訪問などに取り組んだ。
- 労使協議会は賃金関連の交渉がメイン。
全社員のベースアップに加え、年間賞与は10ヶ月を超える満足のいく交渉ができた。
- 労使懇談会 1回 執行部と会社(会長・社長他役員)との会議
- 労使協議会 11回（前期11回） 執行部と人事部他との会議
- 定期大会 1回
- 執行委員会 6回（前期6回）
- 中央委員会 6回（前期6回）
- 職場集会 1回
- 専門部会 13回（前期4回）

3. 2 労働条件対策部

■組合アンケート実施報告

- ・ 1月にアンケートを実施しました。
- ・ アンケート結果は現場訪問と一緒に組合意見を添えて人事部に展開しました。

■現場訪問の実施

全国の現場を中央委員が主体となり、現地に訪問の上、ヒアリングを実施

- 訪問依頼を打診した部署には後日まとめたデータを展開
（部内の運営の一助となるよう組合側からの私見も追記）
- 人事部には組合員が潜在的に抱える悩みとして展開

3. 2 労働条件対策部

■組合アンケートについて

全体の約85%の方の回答をいただきました。
ご協力誠にありがとうございました。

アンケートはデータを職種（現場・内勤等）等級・年代・性別毎にクロス集計を行い、立場の違う各々の傾向が見える様にして人事部へ提出しました。また、現場訪問記録にも抜粋データを添付し、技術課長へ提出しています。

組合アンケートは会社で実施したアンケートと内容は同じでも違う結果が出る傾向にあり、より現実に沿った結果を会社へ伝える事ができるので、今後もアンケートを実施いたします。引き続きご協力をお願いいたします。

3. 2 労働条件対策部

■現場訪問の実施

各事業所の現場に訪問し、組合員からの意見を徴収しました。
今後も継続して実施いたします。

組合だより(第5号)より抜粋

組合HPトップ→活動報告
報告書をUPしています
※未読の方ぜひ一読下さい

今後も意見徴収にご協力ください

現場訪問 活動報告

【期間：2025/1～3 対象地域：北海道～九州】

報告書の内容は
組合ホームページで確認できます！

現場訪問のアンケート結果について
報告書を作成しました！今回の結果は
今後の会社との協議に活用予定です。

現場訪問時の様子です。
訪問現場の皆さん、
ご協力ありがとうございました！

報告書について

- ・訪問現場の部長へは紙に報告書を展開済みです。
- ・内容については匿名性を確保しています。

現場訪問は年間以降も継続予定ですので、引き続きご協力をお願いします！

3. 2 労働条件対策部

■現場訪問記録詳細

- ・ 上司（課長・部長）に対しての相談等
- ・ 人事評価について
- ・ 残業時間について
- ・ R休・振休・残業深夜・休日出勤について
- ・ 仕事面について（客先との関係性・若手の仕事のやりがい等）
- ・ 人事異動について
- ・ 現場その他意見

上記の内容で報告書を作成しています。

3. 3 賃金対策部

■ベースアップの実施報告

➤前年に引き続き定期昇給＋ベースアップを実施

S級職 基本給＋30,000円

※3年連続1万円のベースアップ予定だったため、今後について人事部と協議を予定

■ライン職の魅力向上への取組報告

➤ライン課長の職責の重さを役割給に反映

[2024年度]

役割等級 「5」 役割給 90,000円

[2025年度]

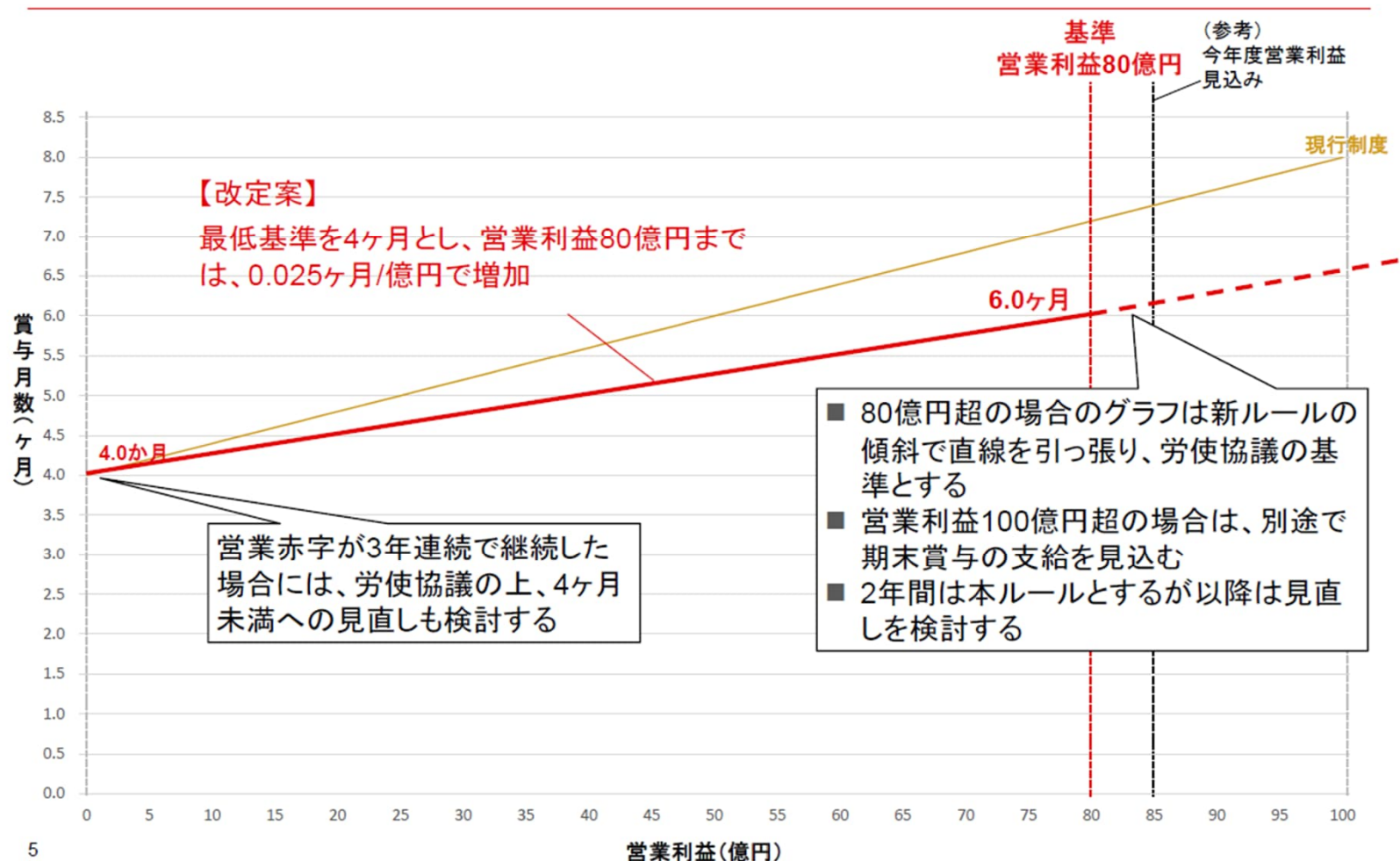
役割等級 「6」 役割給120,000円（ベースアップ含む）

□住宅手当など各種手当の適正化について、継続して人事部と協議中

3.3 賃金対策部

■ 賞与に関する取り組み

96期賞与のイメージ



96期は過去最高益229億を達成し、協議により 特別賞与(1ヵ月) を追加獲得

3. 4 福利厚生部 【福利厚生サービスの検討】

■福利厚生サービスの比較検討と継続決定

現在採用しているベネフィット・ワンについて、利用率が低い
ため、イーウェルや福利厚生クラブとの比較を実施した。

⇒改善提案や特典強化を確認し、現行のベネフィット・ワンを継続
することとした。

< 今後 >

引き続き利用実態を把握し、利便性向上を注視。社員にとってよ
り有益なサービスとなるよう人事部と連携し改善を検討する。

3. 4 福利厚生部 【コースBの転換基準緩和】

■地域限定職コースBの転換基準緩和の提案

採用としても地域限定職があることをアピールすることも出来るのでプラスになると思われる。

管理職になる人が不足するのを懸念しているかもしれないが、そもそも、管理職になりたくない人を無理やり転勤させて、将来管理職にしても良い結果を生まない。

転勤必須で昇進が可能となる現行制度に対し、転勤を望まない社員の選択肢拡大を目的にコースB転換基準の緩和を提案。



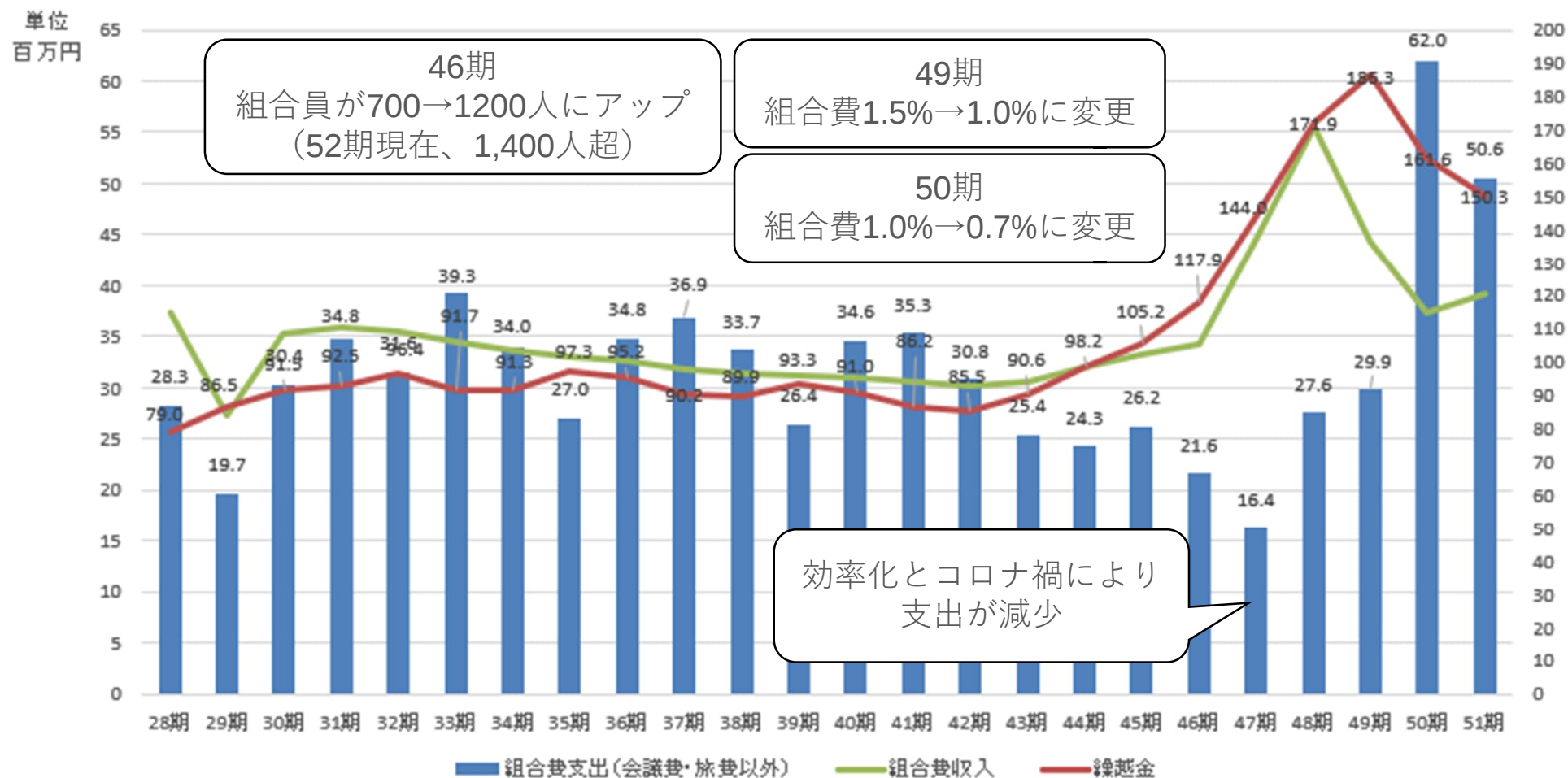
意見書を提出

< 今後 >

社員の多様な働き方を尊重し、採用力強化や職場定着にもつながる仕組みづくりを継続協議する。管理職不足懸念にも配慮し制度改善を進めていく。

3. 5 財政部

組合費の推移【28期(2002年7月末)～51期】



3. 6 企画広報部

組合だより

号	発行月	主な掲載内容
1	8月	・期首の挨拶 ・執行委員・中央委員の紹介 ・職場集会の開催案内
2	11月	・職場集会の報告 ・定期大会の報告（定期大会の一部紹介） ・ハラスメント相談窓口の案内
3	3月	・労使懇談会の報告 ・代議員の紹介
4	5月	・新入社員説明会の報告 ・現場訪問の報告
5	7月	・期末の挨拶 ・選挙結果の報告

号外

- ①カジュアルエブリデー 浸透状況報告
- ②現場訪問実施のお知らせ

3. 7 同業他社実情（アンケート結果から主要な項目を抜粋）

■2024年度ベースアップ：全社ベースアップあり

■2024年度夏季賞与：2ヶ月～8ヶ月（トップは高砂熱学）

■各種手当の拡充：11社中7社は拡充（現場手当、出張手当）

■単身赴任者の帰省回数：月1～2回がほとんど

■単身赴任手当、別居手当：月2万円～6万円

■社員寮制度：

入寮条件は28歳未満、満30歳まで、満35歳まで等様々。すべて借上げ社員寮

3. 8 積み残し課題

優先度 高

■特別住宅手当の公平化

- ・消費者物価指数等を踏まえた支給対象地域の見直しと手当額の増額

■各種社内規程の整備（曖昧な表現、陳腐化した規程の見直し）

- ・転勤・単身赴任・長期出張・近距離長期出張のルールの特典化

⇒50期 意見書提出済

- ・社宅・寮のルールの特典化
- ・出向規程の整備（出向先企業がダイダン労組に属さない）
- ・休日ゴルフの取り扱いの特典化

■各種コース制度の見直し

- ・コースB基準の特典緩和

⇒51期 意見書提出済

■労働組合の活性化

- ・中央委員・代議員の組合活動活性化
- ・専従職員の配置

3. 8 積み残し課題

優先度 中

- 退職金制度の透明化
- ストレスチェックのアフターフォロー
- 男性社員の育児休業の促進
- 非組合員の組合加入（定年再雇用、契約社員、出向社員）
- 年末年始特別手当の拡充（1万円では割に合わない）

優先度 低

- 給与の計算を分かりやすくする
- 部会費の徴収額が不公平（部署・事業所毎に徴収額が異なる）
- 資格手当、対象資格の拡充
- 締め日の見直し（業務負荷の短期集中）
- 福利厚生倶楽部の見直し

等々、主に職場集会後のアンケート結果より優先度をつけて課題管理をしています。

52期活動予定

4. 1 活動の優先順位

①長時間労働の削減

継続して長時間労働の削減を中心とした現場ファーストの活動とする。
現場訪問等の結果より、現場施工担当者の労働環境の厳しさは明らか。
受注目標の厳しさなどから長時間労働が常態化している。
中堅～若手社員離職が続く事業所があるなど、現場の環境は限界を迎えている。

②賃金向上

2025年4月には全社員一律ベースアップが施行されたが、物価上昇に応じて、賃上げ要求を継続する。
2024年4月に施行された現成果配分制度が今期最終年度となり見直しが必須。
現制度より見劣りしない新制度となるよう労使交渉に尽力する。

③その他

下記3つを優先とする。

- ・ 各種コース制度やキャリアモデルの見直しを検討し、魅力あるキャリアモデルの形成を目指す。
- ・ 時間外労働削減のための各種施策に対する実態調査（アンケート）を継続する。
- ・ 現場担当者の意見徴収を行うため、中央委員・代議員による現場訪問を継続する。

4. 2 定期大会報告

開催日時：令和 7 年 1 0 月 2 4 日（金）

開催場所：ハートンホール日本生命御堂筋ビル（大阪）

- ・ 経過報告
 - 1) 一般経過報告
 - 2) 会計報告
 - I) 一般会計
 - II) 特別会計（備闘積立金）
 - 3) 監査報告
- ・ 前期活動報告
- ・ 選挙結果の確認
- ・ 議事
 - 1) 第52期活動方針に関する件
 - 2) 第52期組合予算に関する件
- ・ 執行委員長挨拶
- ・ スローガン宣言

※閉会后、顧問社労士による労働組合勉強会を開催

4. 3 組合活動方針

1. 労働時間の削減

- ① 適正な労働時間の管理と実態調査の継続
- ② 休暇取得の推進
- ③ 労働時間削減に向けた環境整備

2. 賃金の向上

- ① 物価上昇に応じた賃上げ要求の継続
- ② 現成果配分制度最終年度に伴う新制度の交渉
- ③ 現場担当者の待遇改善

3. 魅力ある職場環境の整備

- ① 魅力あるキャリアモデルの形成
- ② 社内規程や職場環境における公平性の再精査
- ③ エンゲージメント向上のための問題抽出

※前期からの「労働時間削減」と「賃金向上」に加えて、
「魅力ある職場環境の整備」にも努めて参ります！！

4. 4 スローガン

一人ひとりが主人公
増やそう賃金 減らそう負担
小さな意見が大きな一歩

- 51期 二兎を追え！ より良い賃金 より良い職場
- 50期 広げよう余裕 あげていこう賃金 みんなで目指す明るい未来
- 49期 時代が変わる ダイダンも変わる みんなの声で一歩前進
- 48期 考えよう きっとできる 職場と家庭の大切な時間
- 47期 行動起こせば心も動く、今こそ変えよう職場環境
- 46期 時代の変化をチャンスととらえ、みんなで築こう新環境
- 45期 考え方は十人十色、話そう、作ろう、よい職場
- 44期 声をあげなきゃ変わらない みんなでつくる新環境

連絡事項

5. 連絡事項

■ アンケートについて

今期も組合よりアンケートを行います。

回収率が悪いと会社に意見ができないため、ご協力をお願いいたします。

■ 懇親会について

参加希望者は職場集会后、飲食店で懇親会を開催してください。

- ・ 支払は原則中央委員が行うこと。
- ・ 職場集会に関係のない懇親会の精算は認めません。
- ・ 経費精算の運用規則に反した精算は認めません。

■ レクリエーションについて

組合の結束力強化を図るため、各地区でレクリエーションを企画します。

対象地区のレクリエーションには奮ってご参加ください。

6. 意見交換

自由にご発言ください。

★本日、話したくても話せなかったことは職場集会アンケートにてご意見願います。